



地域のこれから in 江井島

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

少年自然の家の跡地利用

内 容

少年自然の家の跡地をどのように利用する予定か。

参加者より

新たに建物を建てる必要はないと思っている。子どもたちが自由にボール遊びできるような場所をつくってもらえるとありがたい。

市より

- ・解体を進めていくことを決定している。
- ・現時点では建物を建てる計画はない。跡地の活用については、地域の皆さんと相談しながら、地域にとって本当に必要な場所にしていきたい。

タウンミーティング後に確認したこと

管理宿泊棟は2028年度末までに解体し、跡地は広場として活用するなど、地域の皆さんの声を聴きながら、考えていきたい。
(教育委員会 教育企画室 青少年教育担当)

買い物難民への支援

内 容

- ・Aコープ閉店に伴う買い物困難者への対応を。
- ・ATMを設置してほしい。

参加者より

- ・JAあかし直売所の販売時間を延長しようと思っている。
- ・Aコープの閉店により近所の高齢者が困っている。コープ魚住と連携して、バスで送迎をしてもらえないか検討している。
- ・コープ魚住には、7/18に「買いもん行こカー」をテスト運行してもらう予定になっている。その後8月か9月から半年間、週1回運行してもらい、うまくいけばその後も継続という形になる。
- ・コスモスが半年後ぐらいに江井島にオープンするそうである。商品のうち、食料品の占める割合がかなり高いと聞いている。
- ・Aコープ近くの郵便ポストが撤去されて、投函に不便が生じている。
- ・AコープにあったJAあかしのATMが撤去される。新たにオープンするコスモスに設置できないかと要請しているところ。

市より

コープ魚住との取組については、地域の皆さんが地域のことを考えて進めていることがすばらしい。

移動困難

内 容

- ・たこバスの増便、ルートの見直しをしてほしい。
- ・西江井ヶ島駅のバリアフリー化を進めてほしい。

市より

- ・西江井ヶ島駅のバリアフリー化については、自治会からの署名もいただいており、山陽電鉄に伝えている。藤江駅の完了後、次は西江井ヶ島駅と考えている。どのような改修になるかは山陽電鉄としっかり協議していきたい。
- ・たこバスについてはどの地域でも課題になっている。たこバスに限らず、バス事業は運転手不足と経費高騰により苦しくなっている。そのような中、たこバスには年間約2億4000万円の補助金を出して維持している状況。増便はなかなか難しく、まずは地域の皆さんが乗っていただくことが大切。
- ・路線バスとたこバスが競合しないように、それぞれが成り立つルート設定も必要と考えている。
- ・病院送迎車の活用については、先日新聞報道もあったところ。地域のコミュニティバスなど、共創で地域の皆さんと一緒に考えていきたい。
- ・魚住では地域の方が病院に送迎できるような仕組みを、社会福祉協議会と一緒に考えている。先行事例をモデルにして、かつ、皆さんの力をお貸しいただきながら、地域の移動といった課題を考えていきたい。

障害者支援

内 容

- ・実習に行くときの移動費を支援してほしい。移動支援として働きかけてほしい。
- ・障害者の就労支援については一人ひとり事情が異なる。居場所づくりや専門性も必要。

参加者より

- ・実習に行く際の交通費は個人持ちとなるが、工賃から引かれると厳しい。市に支援してもらえると嬉しい。
- ・65歳以上の障害者就労という点では、明石市で相談できる場所がない。障害者就労センターやシルバー人材センターでも難しかった。

市より

- ・交通費の件、現状を聞かせてもらった。こういったことができるか考えていきたい。
- ・障害者就労の件も、課題として共有いただいた。



地域のこれから in 江井島

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

スポーツ施設の新設

内 容

スポーツ施設をつくってほしい。

参加者より

大人数で大会を開くことのできる場所がない。

市より

- ・施設を整備するには多くの財源が必要。武道館が欲しいという声も聴いているが、新たな施設整備は難しい。今後の課題として聞かせていただいた。
- ・スポーツ施設では、中央体育会館の改修を行う予定。半年程度休館することになるが、トイレを洋式化してシャワーも改修するなど、しっかりリニューアルする予定。

道路の整備

内 容

- ・県道718号線の歩道を整備し、横断歩道をつけてほしい。
- ・国道2号線と明姫幹線の間、南北の道路を整備してほしい。
- ・狭あい道路が多く、ごみ問題が大変。

参加者より

西江井ヶ島駅前に、たばこや食べ物の包装紙、ペットボトルなどが捨てられている。灰皿もない。

市より

- ・たばこの問題については、ちょうど今日の午後に「路上喫煙防止」に関するワークショップがある。ここで出た声を共有する。
- ・横断歩道の新設については、公安委員会から認めてもらうのが難しい。江井島小学校前の横断歩道を渡ってもらうのが安全。
- ・県道718号線については、江井ヶ島駅前の交差点の辺りは用地買収のうえ整備を進めている。
- ・家の建て替え時などにセットバックして、狭あい道路を広げる取組を市内全体で進めているところ。
- ・南北道路については、これまでも整備を進めてきたが、今後も市全体の道路整備の中で考えていきたい。

ため池の活用

内 容

ため池が本当に必要か不要かといった選別の問題がある。

市より

ため池には防災や生態系といった様々な機能がある。例えば大池は西日本最大のオニバスの群生地ということで非常に価値がある。そういったことも踏まえて、ため池が必要か不要か判断していかなければならないと思っている。

農地活用のこれから

内 容

- ・農業継続の問題、後継者がいない。
- ・パイプラインの設置を止められて16年間で失われた。
- ・農地の市街化に向けた対話が必要では。

参加者より

- ・今本当に後継者がゼロで、農業従事者の平均年齢は73歳。パイプラインの設置には最短でも10年かかると言われており、そのときには83歳になっている。
- ・また別の機会にしっかりお話しさせてほしい。

市より

- ・「あかし農業未来プロジェクト」を立ち上げているが、このテーマについては、今後も対話をしていくことが大事だと思っている。一緒に考えさせていただきたい。
- ・農地の市街化については、法律もあり市だけで判断できることではなく、容易ではない。
- ・今後も農業を安心して続けられるよう、少しでも早くパイプラインを通せるよう、取り組んでいきたい。

獣害

内 容

害獣駆除の対策や支援をしてほしい。

参加者より

母屋の天井裏にアライグマが毎年現れる。スウィートコーンが8割ほど被害にあった。

市より

どのような対応ができるか考えたい。うまくいっている地域があれば教えてほしい。

防犯カメラの設置

内 容

防犯カメラを新設してほしい。

参加者より

公園で遊んでいた小学生と中学生がトラブルになったことがあった。公園などにも防犯カメラを設置したほうが良いと思う。

市より

明石市では防犯カメラを設置するに当たって補助制度を設けている。自治会として申請してもらえればと思う。



地域のこれから in 江井島

市民と市長との対話のきろく



現在気になっていること、市長や行政、みんなと一緒に考えたいこと

スクールガード

参加者より

- ・スクールガードの高齢化が進んでおり、危ないと感じることがある。すべてが子ども優先になるケースも見受けられる。
- ・保護者がスクールガードをしているケースは少ない。高齢者に頼りすぎず地域の子どもの保護者中心にサポートしてほしい。
- ・スクールガードは年々増えており、明石市全体で4000人いると聞く。明石駅付近などでは企業が協力している例もあるらしい。行政からも企業にもっと声をかけてもらえるとありがたい。

市より

企業の例は、まさに共創事例。いろいろな人たちが様々な形で子どもを見守っている。そのような空気が今後もつくれると良いと思う。教育委員会にも伝えておきたい。

部活動の地域展開

内容

中学校の部活動が2027年からどうなるか心配

参加者より

- ・国が決めたことではあるが、教員の働き方改革が前面に出ているように感じる。みんながクラブチームに行くわけでもなく、最近では内申点にも影響しないため、江井島中学校でも部活動に入っていない生徒が多い。部活動の数自体も減っている。
- ・平日と土日で指導者が変わる場合、方針などまとまると良いが、どうなっていくのか心配である。

市より

- ・部活動の地域展開については、国の方針であり、すべての自治体で進めようとしているもの。明石市においては、放課後活動の概念を転換して「あかしタイム」という名称をつけた。平日は校内や地域で、休日は地域で活動するなど、こどもファーストで考えている。
- ・学校給食会をベースにして、2026年6月に事務的な業務を担う「学校教育サポート財団」を財団法人として立ち上げた。現在仕組みをつくっているところ。
- ・これまでモデル事業として、休日に剣道、柔道を行っている。2026年度後半には、どこかの中学校をモデル校として、課題を検証しながら広げていきたい。

子どもの居場所

内容

子どもの居場所として、公園でボール遊びができるようにしてほしい。

参加者より

- ・ボール遊びができるだけの広さの公園が少ない。まとまった広さの公園が欲しい。

市より

- ・ボール遊びについては、必要という声、危ないという声など様々な声を聴いている。今後も皆さんの声をしっかり聴かせていただいて考えていきたい。
- ・2025年度「こども若者計画」をつくる過程で多くのこどもや若者の声を聴いた。その中で、ボール遊びがしたい、バスケットゴールが欲しいという声を受け、大蔵海岸や石ヶ谷公園などで実証実験としてバスケットゴールを設置している。地域で希望があれば、今後も設置していきたい。

市の財政

内容

- ・明石市の財政状態を良くするよう考えてもらいたい。
- ・市の財政のため企業誘致を進めてほしい。

市より

- ・財政に関する情報は市民のものだと思っている。市民の皆さんに明石の財政を知ってもらうため、財政白書を作成し本日もお配りしている、中学生にもわかりやすいような内容にしている。今後も最新の情報に更新していく。
- ・市では2026年4月に「財政戦略担当」を新たに設け、全国の先進事例を調査し、ふるさと納税の活用など財源確保に向けて取り組んでいる。
- ・明石中央体育会館も「につしんタコちゃんアリーナ」と命名しているが、ネーミングライツとして費用をいただいている。これも財源確保策の一つ。

